



がん治療センターでは、

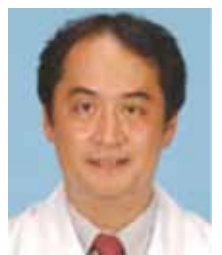
病気の治療だけではなく、患者さんやご家族の不安・悩みを解消する心のケアなどを行っています。

目次

表紙	「がんとお薬とウイルス」 臨床薬理学 教授 佐瀬 一洋	3 ページ	取材ノート「子宮頸がんの予防と早期発見」 産科・婦人科 准教授 寺尾 泰久 がん治療センターからのお知らせ
2 ページ	「がんの常識・非常識」-第3回 人体病理病態学講座 先任准教授 三富 弘之 ・院内がん登録 2009 報告 第2回	4 ページ	「旬の食材」 栄養部 梶原 ゆき ・質問コーナー ・編集後記

「がんとお薬とウイルス」

臨床薬理学 教授 佐瀬 一洋



がんの原因となるウイルス

「がん」は増殖や転移により生命を脅かす悪性の腫瘍ですが、その原因の一つにウイルスがあります。

がんウイルスとはDNAを傷つけてがんを誘発するウイルスで、パピローマウイルス（子宮頸がん）、B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルス（肝臓がん）、ヒトT細胞白血球ウイルス（白血病）、EBウイルス（バーキットリンパ腫）などが知られています。

ウイルス性がんの予防と治療

近年、ウイルスに対するお薬の開発が進み、がん発生や再発の予防が期待されています。例えば、肝硬変や肝細胞がん

への移行阻止を目的として、B型肝炎に対するウイルス抑制因子インターフェロンや逆転写酵素阻害剤ラミブジン、アデフォビル、エンテカビルなどが、C型肝炎に対するインターフェロンとリバビリンの併用療法やプロテアーゼ阻害薬などが効果を示しています。また、B型肝炎の母子感染予防にヒト免疫グロブリンやB型肝炎ワクチン、子宮頸がんの予防にパピローマウイルスワクチンなど、いわゆる免疫療法も注目されています。

ウイルスによるがん治療の試み

逆に、正常細胞に影響を与えずにがん細胞の弱点を突く治療法として遺伝子操作を加えたウイルスを用いる試みがあり、世界各地で研究が続けられています。

「がんの常識・非常識」

第三回 ウイルスと発がん
 人体病理病態学講座 先任准教授 三富 弘之



ヒトの発がんには、化学物質、紫外線、電離放射線など様々な因子が関係していますが、ヒトのがんの約十五%はウイルス感染が関与していると推定されています。これまでに、B型・C型肝炎ウイルス、ヒトパピローマウイルス一六型・一八型、ヒトTリンパ球向性ウイルス一型、エプスタイン・バー (Epstein Barr: EB) ウイルスの六種類のウイルスがヒトの「発がんウイルス」として同定されており、B型・C型肝炎ウイルスは肝がん、ヒトパピローマウイルス一六型・一八型は子宮頸がん、ヒトTリンパ球向性ウイルス一型は白血球性ウイルス一型は白血病の発症に深く関与するところから、肝炎ウイルスとヒトパピローマ

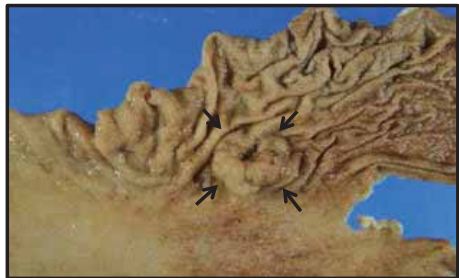


図1: 切除された胃には、長径約 3cm 大のEB関連胃がん(矢印)が見られます。

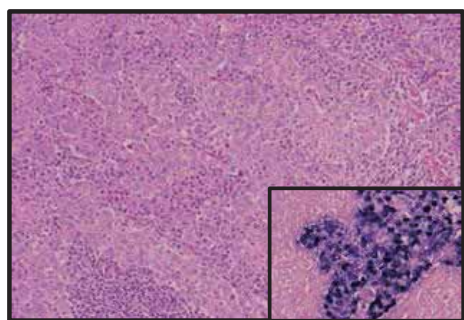
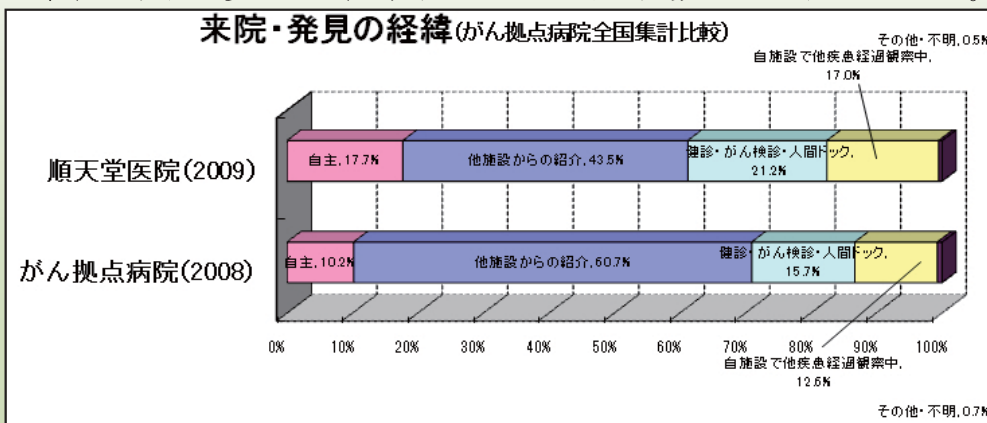


図2: EB関連胃がんの組織所見は、周囲に著明なリンパ球浸潤を伴う低分化な腺がんが特徴とされています。EBウイルス小分子 RNA を標的とした in situ hybridization法で、胃がん細胞の核内にEBウイルスが証明されます(インセット)。

ウイルスの感染予防ワクチンの接種も行われています。また、EBウイルスも以前から、悪性リンパ腫、上咽頭がんとの関わりが指摘されており、最近では日本人に多い胃がんの原因ウイルスとしても知られるようになりました(図1、2)。実際、日本人の胃がん患者の約7%でEBウイルスとの関与が報告される一方で、EBウイルスは世界中に広く分布し、成人するまでに約九十%のヒトが感染していますので、このウイルスに感染して

院内がん登録 2009 報告 — 第 2 回 —

2009年に初回登録をされた患者さんは3,303人でした。「来院・発見の経緯」についてみると、全国のがん拠点病院に比べて、「検診・ドック」、「自主」(紹介状なし・他院宛の紹介状)や「当該施設にて他疾患の経過観察中」の方が高い傾向にあります。順天堂医院は患者さんに選ばれている病院、診療科の垣根を超えて多角的に診療している病院と言えます。「他の施設からの紹介」の割合が少なく見えますが、他の項目が多いため相対的に少ないだけで実数は少なくありません。



も多くのヒトは胃がんにならないという事実から、このウイルスによる特殊な胃がんの発癌機構が推定されており、その解明が今後の課題となっています。

取材ノート 「子宮頸がんの予防と早期発見」

産科・婦人科 准教授 寺尾 泰久



がんは予防する時代だと言われますが、最近注目されるのが子宮頸がんの予防ワクチンです。文京区では平成二十三年度任意予防接種費用助成として中学一年生から高校一年生までを対象として全額金額助成（無料）となっています。今回は、産科・婦人科の寺尾先生に子宮頸がんについてお話を伺いました。

がん治療センター担当者（以下がん治）：

最近、地方自治体が費用補助を行うなどして、子宮頸がんの予防接種を推奨していますが、予防接種すれば、子宮頸がんにはならないのでしょうか？

寺尾：子宮頸がんの罹患率のピークは三〇〜四〇歳台で、若年化の傾向が進んでいます。この年代の女性は、出産・育児世代であるため、子宮頸がんは、別名「マザーキラー」と呼ばれ、少子化の現

代において、より問題視されるようになってきました。このワクチンは子宮頸がんの原因となる全てのウイルスに効果があるわけではありませんが、七割の子宮頸がんには効果があると言われています。ワクチンは一度感染したウイルスに対しては効果がないため、性交渉開始前の接種が最も効果が高いですが、年齢に関係なく効果は期待できます。

がん治：予防接種だけでは不十分ということでしょうか？

寺尾：予防接種と定期的な検診の組み合わせで予防と早期発見が可能となり、子宮頸がんが亡くなる確率を殆どゼロにできると私は考えています。

がん治：お忙しいところどうもありがとうございます。



うございました。

（担当：富宇賀・小澤）

寺尾 泰久（てらお・やすひさ）

平成八年順天堂大学医学部卒、医学博士
日本産科婦人科学会専門医、日本産婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

がん治療センターからのお知らせ

・第八回市民公開講座（演題未定）

場所：順天堂大学有山登記念館講堂

日時：一月二十一日（土）午後二時〜四時

事前予約は不要です。（定員は二〇〇名）

開場時間は午後一時となっております。

・がん茶論

患者さんやご家族と医療者が自由に語り、話し合う場です。（定員は三十名）

場所：三号館二階がん治療センター

時間：午後一時三十分〜三時三十分

* 十月一日（土） * 十一月五日（土）

* 十二月三日（土） * 一月七日（土）

・ミニレクチャー

患者さん向けのレクチャーです。

（定員は二十名）

場所：三号館二階がん治療センター

時間：午前十時〜十一時三十分

* 九月二十四日（土） * 十一月二十六日（土）

* 一月二十八日（土）

問合せ先：〇三・五八〇二・八一九六



旬の食材



栄養部

梶原 ゆき



厳しい残暑のなかにも、秋の訪れを感じる季節になりました。

「食欲の秋」には、「実りの秋」という意味と、「暑い夏が終わり弱っていた食欲も回復する」という意味があるそうです。秋の味覚と言え、何を思い出しますか？栗やさつまいも...今回は、数ある秋の味覚のなかから、きのこ類をご紹介します。きのこ類は、カロリーが低いのでダイエットに向いています。また、食物繊維が豊富なので便秘の解消にも役立ちます。食欲の秋に旬の食材をお楽しみください。

- ◆まつたけ … 「匂いまつたけ、味しめじ」ということわざがあるように、独特の香りが特徴です。魅惑の香りは、マツタケオール(1オクテン-3-オール)という旨み成分によるものです。カリウムや食物繊維が多く高血圧予防や便秘解消にも効果がありますが、そんなにたくさん食べませんよね。
- ◆しめじ … ビタミンB2やナイアシンを多く含み、動脈硬化・肥満の予防になります。旨み成分であるグルタミン酸やアスパラギン酸を多く含み、豊かな味わいです。
- ◆しいたけ … カルシウムの吸収を助けるエルゴステロールを多く含み、骨粗鬆症の予防になります。旨み成分が豊富で、だしにも使われます。生のものより、干し椎茸の方が栄養価が高く味も美味しいと言われます。抗悪性腫瘍剤として使われているレンチナンは、しいたけの子実体から抽出されます。
- ◆まいたけ … 多糖類のグルカンを多く含み、免疫力を高める働きや、抗酸化作用があるため、がんの予防成分として注目されています。



質問コーナー

～第7回市民公開講座の参加者アンケートより～

Q：前立腺がんの検査でPSAの値が毎年上昇しています。生検を受けるべきでしょうか。

A：生検が全く無害とも言い切れないことや、前立腺がんという病気の予後からすると、生検が必要かどうかは、患者さん毎に個別に考える必要があります。その際、年齢、PSAの値、PSAのF/T比、上昇速度（PSA倍加時間）等を考慮します。従って主治医にご自分の希望を伝え、納得されるまでよくご相談されることをお勧めします。

（回答者：泌尿器科 教授 藤目 真）

がん治療センターでは…

がんの治療のみならず、患者さんやご家族の不安、悩みに対するケアを目的として、電話相談、緩和ケア外来、がんセカンドオピニオン外来、コメディカル相談、がん茶論、外来化学療法などの総合的な取り組みを行っています。どうぞお気軽に、何でも下記連絡先までご相談ください。

がん治療センターニューズレター
平成二十三年九月 第八号
創刊：平成二十一年五月（年三回発行）
発行元：順天堂医院 がん治療センター
住所：東京都文京区本郷三丁目一丁目三
電話番号&ファクシミリ：〇三・五八〇二一八一九六
Eメール：cancer@juntendo.ac.jp
ホームページ：http://www.juntendo.ac.jp/hospital/cancer/index.html

編集担当・小澤 修一

人生何をしていても、色々と辛い時期というものに遭遇しますが、辛い時の過ごし方次第でその人の人生の楽しさ度合いに差が出るのではないかと最近思います。辛さの原因となつていゝるものに正面から立ち向かい、状況を打破することができればどんなに楽になるでしょうか。でも実際には、そんなことは無理である場合が多いと思ひます。そんな時は、気の合う仲間と美味しい食事をしたり、趣味に打ち込んだりして発散するしかないですよ。私自身は、最近仕事が忙しくて、友人達とも疎遠となつていゝます。そうになると、あとは、家族と過ごす時間、それ以外には最近始めたゴルフの練習に打ち込むことでしょうか？でもゴルフは思い通りにならず、逆にストレスになつていゝるような氣もします（泣）。私にとつては家族と過ごす時間を大切にするのが一番確実かもしれないですね。



編集後記